

未来社会でともに生きる力を全ての子どもたちに

6年間を通して育てたい



銭函小学校の教育目標

- ◆ かしこい子ども (知)
- ◆ 美しい心をもつ子ども (徳)
- ◆ 強くたくましい子ども (体)

こんな学校に、子どもたちにしたい

- ・ 子どもを未来につなぐ笑顔あふれる学校
(子ども・保護者・地域・教職員の4つの笑顔)
- ・ 基礎・基本を大切に、学びを身に付ける子
- ・ 自他を理解し、しっかり考え、つながる子
- ・ 学びを活かし、仲間とともに高め合う子

そのために重点となる目標を立てました

未来を見つめ いまを大切にする子

START

GOAL
重点教育目標の達成指標

PLAN

目標に向かって、おもにこれらのことに取り組みます

ACTION

柱Ⅰ「未来を創る力の育成」

- ① 確かな学力の育成
 - ・ 各教科の基礎・基本の定着と学習意欲の向上
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - ・ 子どもの意識化を図る学習規律の徹底
 - ・ 1人1台端末等を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実
- ② 理数教育の充実
 - ・ 子どもの問いを大切にしたい問題解決的な学習

- 【数値目標】
- 各種学力調査（国語）全道平均以上（算数）全道平均程度
 - 算数・理科が好きな児童 80%以上

柱Ⅱ「豊かな心の育成」

- ① ふるさと教育の充実
 - ・ 「本物体験」を積極的に導入した教育活動の展開
- ② いじめの防止や不登校児童の支援の充実
 - ・ アンケートを有効活用した、いじめをしない・させない学校づくり
 - ・ 一人一人を大切に温かな学校づくり
- ③ 読書活動の推進
 - ・ 朝読書の実施と家庭への啓発活動

- 【数値目標】
- 全学年で地域教材を活用した学習 年1回以上
 - 小中学校の児童生徒によるいじめに関する取組 年1回以上
 - 「家読の日」の設定と啓発活動の実施

柱Ⅲ「健やかな体の育成」

- ① 体力・運動能力の向上
 - ・ 新体力テストの効果的な活用による継続的な体力の向上
 - ・ 外部講師を招聘した研修講座等の実施による指導力の向上
- ② 食育の推進
 - ・ 企業や栄養教諭等、外部講師と連携した食育教室
 - ・ 望ましい食習慣・生活習慣の定着を図る家庭への啓発

- 【数値目標】
- 全国体力・運動能力・運動習慣等調査「走力」「全身持久力」全道平均以上
 - 生活習慣スケジュール表を活用した取組 年2回以上

柱Ⅳ「学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現」

- ① 学校段階間の連携・接続の推進
 - ・ 義務教育9年間を見据えた小中一貫教育の推進
- ② 教職員の資質・能力の向上と学校運営の改善
 - ・ 公開研究会開催を通して活かす日常の授業の改善
 - ・ 働き方改革の実効化「一斉退勤日」「DX」
- ③ 学校安全教育の充実
 - ・ 児童自身が自分を守る力を身に付ける防災教育の推進

- 【数値目標】
- 銭函地区各校との連携・接続の取組 年3回以上
 - 高学年の教科担任制推進と一斉退勤日の月2回設定
 - 安心メールに加え、保護者・地域との連絡体制を整備

「つなぐ」「そろえる」「ESDの視点」を大事にします

DO

学校に関わる多くの人の思いや姿を通して、学校は変わり続けます

【学校評価】 【学力向上改善プラン】 【体力向上改善プラン】 【学校職員人事評価】

CHECK

【家庭と手をつないで】 家庭と地域のチカラが子どもの未来を拓きます

【地域と手をつないで】

「すてきな挨拶」「元気な返事」ができる、思いやりのある子に、「家庭学習」の時間が位置付いた生活リズムの定着に、「おたるマート7」・「家読の日」・「PTA 活動」にご協力を！

「社会に開かれた教育課程」実現に向けた人材等の支援に、「環境整備」や、できるとき・できるだけ・無理のない「コミュニティ・スクール『子供見守り隊』の活動」にご協力を！

後志管内教育推進の重点
子ども一人一人の幸せの実現を
目指す後志教育の推進

- ～信頼を基盤に 理念を共有 ベクトルを合わせて 質の向上～
- ◆ 子ども一人一人の可能性を引き出す教育の推進 『成果に結び付ける』
 - ◆ 学びの機会を保障し質を高める環境づくり 『寄り添う』
 - ◆ 持続的で魅力ある教育活動を実現させる環境づくり 『保障する』
 - ◆ 成長を支える学校間連携と家庭・地域との連携・協働 『つながる』

小樽市教育推進計画

【基本理念】

「主体的に学び小樽の未来を創る心豊かな人づくり」

開校 明治14年2月

開校 142周年

児童数 284名（令和5年4月）